

B18

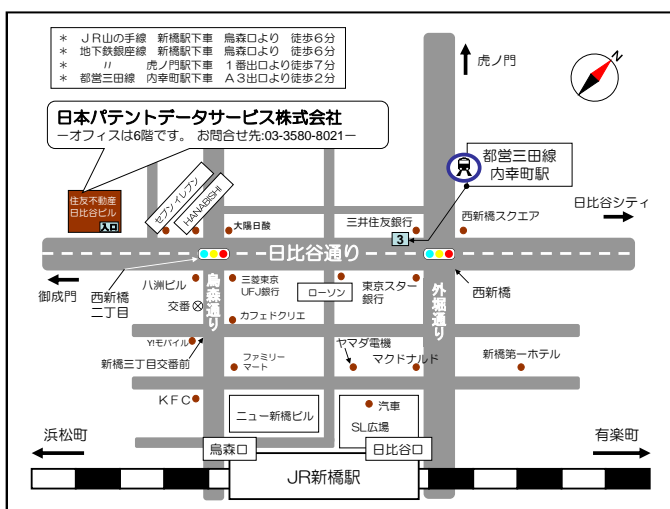
特許情報検索法（無効資料調査）

中級～

無効資料調査における留意点
検索式策定手順から報告書作成までのノウハウ公開

無効資料調査は文字通り「既に登録となった特許を無効化する調査」です。一旦特許権が成立した特許を無効化するためには、どのような点に注意して有力な資料を調査しなければならないのか？本講座では、調査範囲探索のテクニックを中心に「説得力ある資料を探す手法」を調査のプロが丁寧に解説します。

知財の調査実務者、開発・設計部門の調査を担当されていてさらなるステップアップを目指す方に最適です。



講師：酒井 美里
スマートワークス(株) 代表取締役
元セイコーエプソン(株) 知的財産本部

場所：日本特許データサービス(株) セミナ室
東京都港区西新橋 2-8-6
住友不動産日比谷ビル 6F
TEL: 03 (3580) 8021 FAX: 03 (5512) 7810

時間：1日間コース (10:00～16:00)
受講料：20,000円 (税別)
定員：24名 (先着順申し込み)
日程：9月13日 (水)

- 【申込締切】 セミナー開催日の3営業日前までとさせていただきます。
- 【申込方法】 FAXまたはeメールでお受けいたします。FAX: 03(5512)7810 メール: chizai-semi@jpdcs.co.jp (受講票をメールまたはFAXにてお送り致します。5営業日以内に届かない節はご一報ください。)
- 【キャンセル】 セミナー開催日前10日以降にキャンセルされた場合には、受講料を請求させていただきます。但し、講師の都合などで急遽開催が見送られた場合には受領済みの受講料を返却させていただきます。

お申込日 年 月 日

「特許情報検索法（無効資料調査）」申込書

日本特許データサービス株式会社 知財研修部 行 (FAX: 03-5512-7810)

会社名				部課名		
住所	〒					
TEL				FAX		
参加希望日	<input type="checkbox"/> 9月13日					
受講者氏名			所属			特許調査経験 <input type="checkbox"/> 有(年) <input type="checkbox"/> 無
E-mail						
受講者氏名			所属			特許調査経験 <input type="checkbox"/> 有(年) <input type="checkbox"/> 無
E-mail						

支払方法 単独請求書・銀行振込 当日現金 合算請求(お取引コード:)

備考: ※弁理士の方は弁理士(登録)番号をご記載ください。(本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。)

【セミナースケジュール】 特許情報検索法（無効資料調査）

10:00	講師ご紹介
10:05	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無効資料に必要な「説得力」 ・ 庁内サーチでの検索範囲とは ・ 無効資料調査に利用できる情報源
11:45	昼休憩
12:45	無効材料調査 ケーススタディ <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前準備 ～ 調査対象資料の確認 ・ 調査分類の特定と、検索式の作成事例 (作業手順・試行錯誤の過程など、全工程を説明します。)
14:20	休憩
14:30 15:30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査分類の特定と、検索式の作成事例 (続き) ・ 無効資料の組立てと、調査報告書(構成要件対比表)の作成
15:50	質疑・応答
16:00	終了

【備考】

- ・ 本講座は、各種特許分類の使い分けができるか、「プロの技に迫る特許情報検索法」講座をすでに受講された方を対象としております。(分類知識がないと、午前中の「検索式構成の留意点(概要)」から話がわからなくなる可能性があり、おすすめできません。)
- ・ セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。可能な限りお答えさせていただきます。